

# X-Edit

## Editor / Librarian Software

### for DigiTech RPx400 / Vx400



## Operation Manual Version 1.01

# 目次

SECTION 1 インストール .....	3
DigiTech X-EDIT エディター / ライブラリアン・ソフトウェア : .....	3
オーディオ & MIDI ドライバーのインストール : .....	3
Windows XP へのインストール手順 : .....	3
Windows 2000 へのインストール手順 : .....	5
コンピュータのオーディオと MIDI のセットアップ .....	8
Windows XP での手順 .....	8
Windows 2000 での手順 .....	8
X-EDIT のインストール : .....	8
SECTION 2 基本操作 .....	10
X-EDIT の起動 : .....	10
ライブラリー・ウィンドウの使い方 : .....	11
エディター・ウィンドウの使い方 : .....	11
エクスプレッション・ウィンドウの使い方 : .....	12
プリセットの保存方法 : .....	13
オーディオ・ウィンドウの使い方 : .....	13
メニュー .....	14
File メニュー : .....	14
New Preset .....	14
Open .....	14
Close .....	14
Save .....	14
Save As... .....	14
Exit .....	14
Device メニュー : .....	14
Open Current Preset .....	14
Store Preset .....	14
View メニュー : .....	14
Audio Setup .....	14
Library Window .....	14
Expression Assignments .....	14
Window メニュー : .....	15
New Window .....	15
Available Window .....	15
Help メニュー : .....	15
Contents .....	15
About X-Edit .....	15

## SECTION 1 インストール

### DigiTech X-EDIT エディター / ライブラリアン・ソフトウェア :

RPx400 / Vx400 に付属する「X-EDIT」エディター / ライブラリアン・ソフトウェアは、RPx400 / Vx400 のすべての操作をコンピュータのディスプレイ上でリモート・コントロールするソフトウェアです。「X-EDIT」がコンピュータ上で行える RPx400 / Vx400 の制御は以下のとおりです。

- プリセットの選択
- プリセットのエディット
- エクスプレッション・アサイン
- オーディオ・セットアップ
- プリセットの保存
- プリセットのバックアップ

次の手順に従い、USB ドライバーおよび X-EDIT をインストールしてください。

### オーディオ & MIDI ドライバーのインストール :

**注意！** 必要なソフトウェアをご利用のコンピュータへインストールするよりも以前に、RPx400 / Vx400 とコンピュータを USB 接続しないでください。

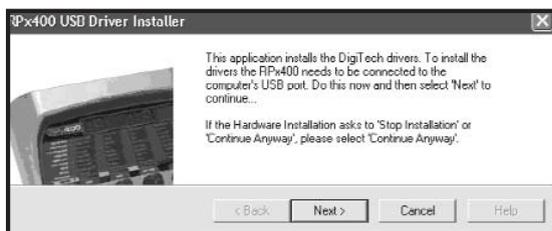
お使いのコンピュータで RPx400 / Vx400 を外部オーディオおよび外部 MIDI インターフェイスとして認識させるため、専用のドライバー・ソフトウェアをインストールします。

**注意** 現バージョンでは WindowsXP および Windows2000 用のドライバーのみの提供となっております。これ以外の Windows、および Windows 以外のオペレーティング・システムで動作しているコンピュータでは RPx400 を利用することはできません。DigiTech では Windows98 系用のドライバー、および Macintosh 用のドライバーを現在開発中です。最新のドライバー情報は、弊社または DigiTech の Web サイトを確認ください。

ドライバーのインストール手順は、お使いのオペレーティング・システムによって異なります。ご利用のオペレーティング・システムのインストール手順に従い、ドライバーのインストールを行ってください。

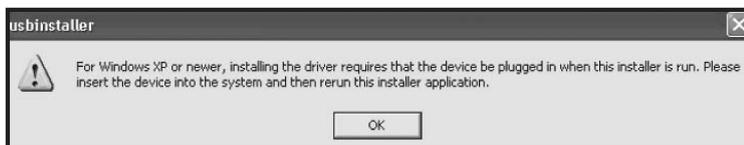
#### Windows XP へのインストール手順 :

1. Windows XP コンピュータを起動します。
2. RPx400 / Vx400 の USB ジャックに貼付られている「Warning」ステッカーをはがし、RPx400 / Vx400 の電源をオンします。
3. 付属の USB ケーブルをコンピュータと RPx400 / Vx400 へ接続します。
4. コンピュータが新しい接続機器を認識している旨の複数のポップアップ・メッセージがタスク・バーに表示されます。RPx400 / Vx400 は 2 つの MIDI デバイスと 2 つのオーディオ・デバイスを内蔵しているため、すべての接続機器を認識するまでしばらく時間を必要とします。
5. 「新しいハードウェアはインストールされ使用する準備ができました」メッセージがタスク・バーに表示されるのを確認します。しかしこの時点ではドライバーのインストールは完了していません。
6. 「X-EDIT」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブへ挿入します。自動的にインストール・メニューが表示されます。もしも表示されないならば、タスク・バーの「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、d:\¥instmenu.exe (d:\¥ はお使いの環境によって異なります) を直接入力します。
7. インストール・メニューの「USB Audio MIDI Drivers」をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



8. 「Next」をクリックするとドライバーのインストールを開始します。インストール完了まで数分かかることがあります。

もしもRPx400 / Vx400がコンピュータに接続されていない場合には、以下のダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてインストールをキャンセルし、このセクションのステップ1からやり直してください。



9. インストールに成功しハードウェアへの接続が開始されると、以下のウィンドウが表示されます。



10. 「Click Continue Anyway」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



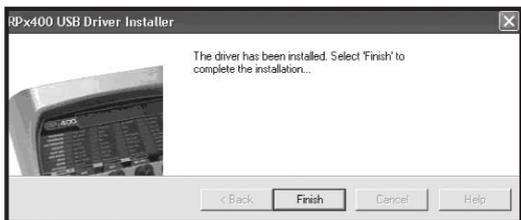
11. 「Click Continue Anyway」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



12. 「Click Continue Anyway」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



13. 「Click Continue Anyway」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



14. 「Finish」をクリックするとインストールの完了です。

#### Windows 2000 へのインストール手順：

Windows2000 では、ドライバーのインストールよりも以前に RPx400 / Vx400 とコンピュータを USB 接続しては行けません。

1. コンピュータを起動し、「X-EDIT」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブへ挿入します。

自動的にインストール・メニューが表示されます。もしも表示されないならば、タスク・バーの「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、d:\¥instmenu.exe (d:\¥はお使いの環境によって異なります) を直接入力します。

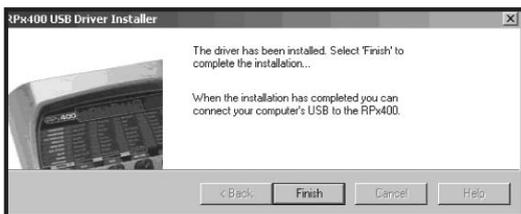
2. インストール・メニューの「USB Audio MIDI Drivers」をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



3. 「Next」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



4. 「Yes」をクリックするともう一度同じウィンドウが表示されます。「Yes」をもう一度クリックするとドライバーのインストールを開始します。インストール完了まで数分かかることがあります。完了すると以下のウィンドウが表示されます。



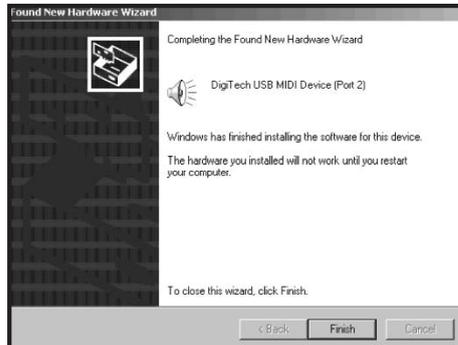
5. 「Finish」をクリックします。

6. RPx400 / Vx400 の USB ジャックに貼付られている「Warning」ステッカーをはがし、RPx400 / Vx400 の電源をオンします。

7. 付属の USB ケーブルをコンピュータと RPx400 / Vx400 へ接続します。以下のウィンドウが表示されます。



8. 「Yes」 をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



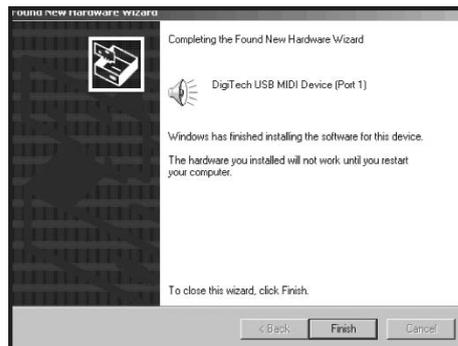
9. 「Finish」 をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



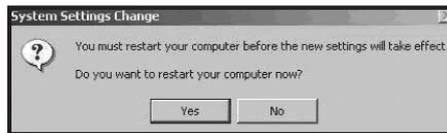
10. まだコンピュータをリスタートする必要はないので「No」をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



11. 「Yes」 をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



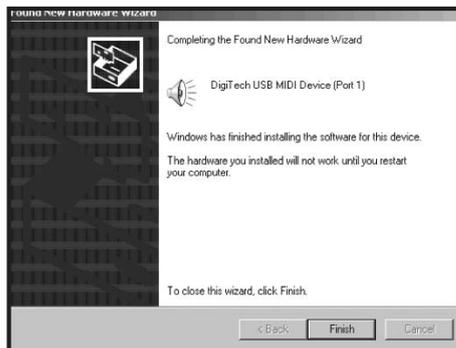
12. 「Finish」 をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



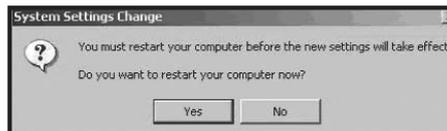
13. まだコンピュータをリスタートする必要はないので「No」をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



14. 「Yes」 をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



15. 「Finish」 をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



16. まだコンピュータをリスタートする必要はないので「No」をクリックします。そしてステップ 14 と 15 を繰り返します。



17. 最後に「Yes」をクリックし、コンピュータをリスタートします。リスタート後に RPx400 / Vx400 が利用可能になります。

## コンピュータのオーディオと MIDI のセットアップ

RPx400 / Vx400 が利用する Digitech USB オーディオ・ドライバーと DigiTech USB MIDI ドライバーのインストールが完了し、コンピュータが RPx400 / Vx400 を認識した時、コンピュータはデフォルトのデバイスとして RPx400 / Vx400 を選択したかもしれません。コンピュータのオーディオと MIDI の設定に変更が加えられると、オーディオ・プレイヤーや MIDI プレイヤーでのサウンド出力に影響が及ぶため、標準の設定に戻す必要があります。

RPx400 / Vx400 のドライバーが正常にインストールされたか否かの確認作業も含め、以下の手順に従ってコンピュータのオーディオと MIDI デバイス設定を確認 / 修正してください。

### Windows XP での手順

1. タスク・バーの「スタート」→「コントロールパネル」→（「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」）→「サウンドとオーディオデバイス」を実行します。
2. 「オーディオ」タブをクリックします。
3. 「音の再生－規定のデバイス」プルダウン・メニューをクリックし、標準のオーディオ・プレイバック・デバイスを選択します。このプルダウン・メニューに「DigiTech USB 1-2 In/Out」と「DigiTech USB 3-4 In Only」が表示されていればドライバーは正常にインストールされています。
4. 「録音－規定のデバイス」プルダウン・メニューをクリックし、標準のオーディオ・レコーディング・デバイスを選択します。このプルダウン・メニューに「DigiTech USB 1-2 In/Out」と「DigiTech USB 3-4 In Only」が表示されていればドライバーは正常にインストールされています。
5. 「MIDI 音楽の再生－規定のデバイス」プルダウン・メニューをクリックし、標準の MIDI プレイバック・デバイスを選択します。このプルダウン・メニューに「RPx400 USB MIDI」（もしくは「Vx400 USB MIDI」）と「DigiTech USB X-Edit」が表示されていればドライバーは正常にインストールされています。
6. 「サウンドとオーディオデバイス」を閉じます。

### Windows 2000 での手順

1. タスク・バーの「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開きます。
2. 「サウンドとマルチメディア」を実行します。
3. 「オーディオ」タブをクリックします。
4. 「音の再生－規定のデバイス」プルダウン・メニューをクリックし、標準のオーディオ・プレイバック・デバイスを選択します。このプルダウン・メニューに「DigiTech USB 1-2 In/Out」と「DigiTech USB 3-4 In Only」が表示されていればドライバーは正常にインストールされています。
5. 「録音－規定のデバイス」プルダウン・メニューをクリックし、標準のオーディオ・レコーディング・デバイスを選択します。このプルダウン・メニューに「DigiTech USB 1-2 In/Out」と「DigiTech USB 3-4 In Only」が表示されていればドライバーは正常にインストールされています。
6. 「MIDI 音楽の再生－規定のデバイス」プルダウン・メニューをクリックし、標準の MIDI プレイバック・デバイスを選択します。このプルダウン・メニューに「RPx400 USB MIDI」（もしくは「Vx400 USB MIDI」）と「DigiTech USB X-Edit」が表示されていればドライバーは正常にインストールされています。
7. 「サウンドとマルチメディア」を閉じます。

この設定はドライバー・インストール直後に、1度行うだけです。以後はこの設定をコンピュータが保持するので、意識する必要はありません。しかし、ProTracks や他のレコーディング・ソフトウェアを利用する際には、そのソフトウェアで RPx400 を利用できるように各種の設定を行う必要があります。

## X-EDIT のインストール：

付属ソフトウェア「X-EDIT」は、RPx400 / Vx400 の各種設定およびサウンド・メイキングをコンピュータ上で行うためのツールです。レコーディングに必須のソフトウェアではありませんが、エフェクト・エディットの時間短縮、オリジナル・サウンドのライブラリー管理など多くの利点をもたらします。

X-EDIT に関する詳細は、弊社添付の CD-R に収録された「X-Edit Operating Manual J.pdf」を参照ください。

1. コンピュータで起動しているすべてのアプリケーションを終了させます。可能であればウイルス検知アプリケーション等バックグラウンドで動作しているアプリケーションも終了させてください。

※ X-EDIT は「Microsoft .NET Framework」の実行下で動作します。お使いのコンピュータに「Microsoft .NET Framework」がインストールされていない環境では、X-EDIT インストーラーが最初に「Microsoft .NET Framework」を自動的にインストールします。

現在判明しているトラブルとして、Windows 2000 上にて「McAfee AntiVirus」ソフトウェアが起動していると「Microsoft .NET Framework」のインストールに失敗する事例が報告されています。この組み合わせでご利用の方は、「McAfee AntiVirus」ソフトウェアを（一時的な停止ではなく）アンインストールしてください。

「Microsoft .NET Framework」および「X-EDIT」インストール後には、再インストールされた「McAfee AntiVirus」ソフトウェアも、他のウイルス検知アプリケーションも正常に作動させることができます。

2. 「X-EDIT」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブへ挿入します。

自動的にインストール・メニューが表示されます。もしも表示されないならば、タスク・バーの「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、d:\instmenu.exe（d:\¥ はお使いの環境によって異なります）を直接入力します。

3. インストール・メニューの「DigiTech X-Edit」をクリックします。

4. インストーラーがお使いのコンピュータに「Microsoft .NET Framework」がインストールされているか否かを確認します。

すでに「Microsoft .NET Framework」がインストールされていればステップ8までスキップします。

5. 「Microsoft .NET Framework」インストールされていない環境では「Microsoft .NET」インストーラーが自動的に起動します。

6. 現れる指示に従ってください。

インストールには数分を要します。進行度を示すプログレス・バーが一旦完了を示してから再び最初から始めることがあります。それは異常ではなくインストーラーの正常な動作です。

7. Windows XP では自動的に次のステップへ移行します。

Windows 2000 では自動的にシステムの再起動が実行される場合があります。この場合は、再起動後、自動的に次のステップへ移行します。もしも、自動的に再起動しない場合、あるいは再起動後に何も起きない場合には、再起動後にステップ1からやり直してください。

8. 「Welcome to the Installation Wizard for DigiTech X-Edit 1.xx」ウィンドウが表示されたら「Next」をクリックします。

9. 利用者情報を入力し、すべてのユーザーで X-EDIT を使用するのであれば「Anyone」を、現在のユーザー・アカウントのみで使用するのであれば「Only for me」を選択し、「Next」をクリックします。

10. 表示されたスクリーンで「Install」をクリックします。

11. インストール完了のスクリーンで「Finish」をクリックします。

12. ウィルス検知アプリケーション等を無効あるいはアンインストールしたのであれば、有効あるいは再インストールします。

13. RPx400 / Vx400 の電源をオンし、RPx400 / Vx400 とコンピュータを付属の USB ケーブルで接続します。X-EDIT を起動すると、その瞬間から RPx400 / Vx400 の各種設定を X-EDIT 上から行えます。

※ 弊社添付の CD-R に付属する最新版のインストーラー、およびネット上でダウンロードされたインストーラーには「Microsoft .NET Framework」インストーラーが付属してません。これらのインストーラーからご利用の PC へ初めてインストールされる場合には、まず始めに X-EDIT CD-ROM から旧バージョンを一度インストールし、その後、最新版の X-EDIT をインストールしてください。

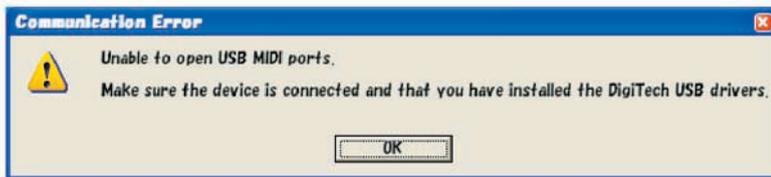
## SECTION 2 基本操作

### X-EDIT の起動：

USB ドライバーのインストールに成功したら X-EDIT を起動します。

1. コンピュータを起動します。
2. RPx400 / Vx400 の電源をオンし、コンピュータと USB 接続します。
3. コンピュータのタスクバー、「スタート」→「すべてのプログラム」→「DigiTech」→「X-Edit」→「X-Edit」をクリックするか、デスクトップ上に置かれている X-EDIT アイコンをダブル・クリックして X-EDIT を起動します。
4. RPx400 / Vx400 の正常接続を認識すると、X-EDIT が起動します。

もしも以下の警告ダイアログが現れた場合には、RPx400 とコンピュータの USB 接続に問題があります。



接続が正しく行われているか確認し、それでも X-EDIT が起動しないのであればドライバーの再インストールを試みてください。

5. X-EDIT の起動時には「Library」ウィンドウだけが表示されます。もしも「Library」ウィンドウが開いていないのであれば、メニューバーの「View」→「Library Window」を実行してください。以後、本マニュアルでは RPx400 での例を解説していきますが、Vx400 でも操作方法は同じです。



## ライブラリー・ウィンドウの使い方：

「Library (ライブラリー)」ウィンドウは、RPx400 内のプリセットを表示しているウィンドウです。RPx400 内のすべてのプリセットを表示でき、このウィンドウから RPx400 のプリセット・チェンジを行ったり、エディット・モードへ進入したりすることができます。「Library」ウィンドウで行える操作は以下のようになっています。

- 「Library」ウィンドウはツリー構造になっており、自分の見やすいように展開 / 縮小できるようになっています。最上位のフォルダ「RPx400」は RPx400 本体を意味しており、その下層のフォルダ「Factory」「User」「Artist」は RPx400 内のバンクを意味しています。さらに下層の個々のアイテムはバンク内のプリセットそのものを意味しています。フォルダの展開 / 縮小は、フォルダ・アイコンのダブル・クリック、もしくはフォルダ左端の「+」 / 「-」ボックスのクリックによって行います。
- プリセット・ネームをクリックすると RPx400 がプリセット・チェンジを行います。現在鳴っているサウンドはプリセット・ネームが反転表示されています。
- プリセット・ネームをダブル・クリックするとエディット・ウィンドウが開きます。エディター・ウィンドウは RPx400 でのエディット・モードと同じです。この操作は、メニューバーの「Device」→「Open Current Preset」を実行するか、ショートカット「Ctrl + R」キーでも行えます。エディター・ウィンドウの詳細は次項を参照してください。
- 「User」フォルダ内のプリセット・ネームは変更することができます。表示が反転しているプリセット・ネームをもう一度クリックすると文字入力が可能になります（半角英数字のみ、6文字まで。全角文字および半角カタカナは利用できません）。また、プリセット・ネームを右クリックするとコンテキスト・メニューが表示されます。マウスを「Rename」へ合わせクリックすることで同様の操作が行えます。
- もしも「Library」ウィンドウが開いていない場合は、メニューバーの「View」→「Library Window」を実行することで開くことができます。

## エディター・ウィンドウの使い方：

「Library」ウィンドウでプリセット・ネームをダブル・クリックするか、メニューバーの「Device」→「Open Current Preset」を実行するか、ショートカット「Ctrl + R」キーを入力すると開くウィンドウで、RPx400 でのエディット・モードと同じ仕事をするウィンドウです。

「Editor (エディター)」ウィンドウは、現在のプリセットのセッティングをグラフィック表示するウィンドウであり、さらにウィンドウ内の各パーツをマウスで操作することによって、サウンドのセッティングを変更できるウィンドウです。「Editor」ウィンドウで行える操作は以下のようになっています（各エフェクト・パラメーターがもたらす効果等の詳細は RPx400 ユーザーズ・ガイドを参照してください。）

- 「Name Display」をクリックするとプリセット・ネームの変更ができます。ここで変更したプリセット・ネームは RPx400 のディスプレイにはすぐ反映され、「Library」ウィンドウにはプリセット保存後に反映されます。
- 「On/Off Switch」上をクリックするとエフェクトのオン / オフが切り替わります。明るいブルーに点灯しているボタンが現在アクティブなエフェクトです。



- 「Switch」は、ふたつの選択肢のあるパラメーターのいずれかを選択するスイッチです。クリックしたボタンがアクティブになります。
- 「Combo Box」は、複数の選択肢のあるパラメーターのいずれかを選択するポップアップ・リスト・ボックスです。ボックス上をクリックするとポップアップ・リストが表示され、表示されたリストから任意のパラメーター上をクリックすることで選択変更できます。リストの左側にチェック・マークのついているパラメーターが現在選択されているパラメーターです。
- 「Knob」の外周（目盛周辺）をクリックすると、その位置へノブ・マーカが移動します（もちろんパラメーターも変更されます）。さらにマウスをクリックしたままノブ外周に沿ってマウスを動かすとノブ・マーカがマウスに追従します。  
「Knob」の中心付近にマウスカーソルが移動すると通常の矢印カーソルが「上下の矢印（⇕）カーソル」に変化します。この「⇕カーソル」状態の時にクリックしたままマウスを上下左右に動かすことでパラメーターを変更できます。さらに「⇕カーソル」状態の時にはキーボードの↑↓←→キーでもパラメーターを増減させることができます。
- 「Fader」はエフェクト・レベルの設定をします。「Fader」ノブをクリックしたままマウスを上下させることで設定変更できます。  
「Fader」レーン（ノブが移動できる範囲）ではマウスのクリックだけでその位置へノブが移動します。さらに「Fader」レーン上にマウス・カーソルがある時には、キーボードの↑↓←→キーでもパラメーターを増減させることができます。
- 「Value Display」は現在の（あるいは直前に変更した）パラメーター・ネームと値を表示します。パラメーター値をクリックするとパラメーター値をダイレクトに入力することができます。
- 「File」→「New Preset」を実行すると新規プリセットの制作が可能になります。新規プリセットはRPx400のメモリー内には存在しないX-EDIT上での架空のプリセットとなります。新規プリセットはRPx400内のメモリーに上書きするか、プリセット・ファイルとしてコンピュータのハードディスク内に保存しない限りX-EDIT終了時に失われます。プリセットの保存方法は13ページを参照してください。  
「File」→「New」で呼び出される新規プリセットをデフォルト・プリセットと呼び、デフォルト・プリセットが呼び出すセッティングは「C:¥Program Files¥DigiTech¥X-Edit」ディレクトリに保存されている「default」ファイルの設定に従います。インストール時にはこの「default」ファイルに一般的なクリーン・サウンド・セッティングを施していますが、ユーザーの好みによって変更することも可能です。デフォルト・プリセットにしたいセッティングを制作し、「File」→「Save」を実行、ファイル名を「default」にして、「C:¥Program Files¥DigiTech¥X-Edit」へ上書き保存してください。以後、新しいセッティングがデフォルト・プリセットとして呼び出されます。
- 「Expression Pedal」はRPx400のエクスペッション・ペダルをバーチャルに再現するエリアです。「Expression Pedal」付近にマウスカーソルが移動すると通常の矢印カーソルが「上下の矢印（⇕）カーソル」に変化します。この「⇕カーソル」状態の時にクリックしたままマウスを上下左右に動かすことでエクスペッション・ペダルの動作を再現できます。

また、踵側のエリアをクリックすれば最小値へ、爪先側のエリアをクリックすれば最大値へ瞬時に移動でき、爪先部分をクリックしたままマウスを動かせばペダルを高速移動させることができます。

エクスペッション・ペダルへのパラメーター・アサインは専用ウィンドウで行います。詳細は次項を参照してください。



## エクスペッション・ウィンドウの使い方：

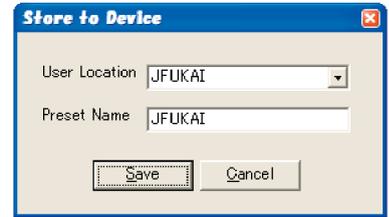
「Editor」ウィンドウがアクティブになっている状態で（それ以外ではメニューが表示されません）、「View」→「Expression Assignments」を実行すると「Expression」ウィンドウが開かれます。「Expression」ウィンドウは、RPx400のエクスペッション・ペダルにアサインするパラメーターの選択、および内部LFOにアサインするパラメーターを選択/設定するウィンドウです。

「Expression」ウィンドウ内での操作方法は、「Editor」ウィンドウと同じです。前項を参照してください。また、エクスペッション・アサインに関する詳細はRPx400ユーザーズ・ガイドを参照してください。

## プリセットの保存方法：

X-EDIT で制作したプリセット・セッティングは RPx400 のメモリーに保存するか、コンピュータのハードディスク（あるいは他の記録デバイス）へ保存する必要があります。以下は保存の手順になります。

- 現在のセッティングを RPx400 のユーザー・メモリーへ保存するのであれば、「Device」→「Store Preset」を実行します。「Store to Device」ウィンドウが表示されます。「User Location」ポップアップの▼をクリックし、保存場所を選択します（そのプリセットに上書きされます）。「Preset Name」ボックスへ任意のプリセット・ネームを入力し（半角英数字のみで6文字以内、全角文字/半角カナは RPx400 で ??? 表示になります）、「Save」ボタンをクリックします。
  - 現在のセッティングをコンピュータのディスクへ保存するのであれば、「File」→「Save（あるいは Save As...）」を実行します。「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されますので、任意の名前（これはファイル名なので自由に入力できます）を入力し、保存場所を指定して「保存」ボタンをクリックします。
- ディスクに保存されたプリセット・データは「File」→「Open」で呼び出すことができます。



## オーディオ・ウィンドウの使い方：

「View」→「Audio Setup」を実行すると「Audio Setup」ウィンドウが開きます。「Audio Setup」ウィンドウの「Setup」エリアでは RPx400 のセットアップ・モードで行う入出力のセットアップが行えます。「Levels」エリアでは USB 接続時のパフォーマンス・モードで行えるレベル調節が行えます。

「Audio Setup」ウィンドウ内での操作方法は、「Editor」ウィンドウと同じです。前項を参照してください。また、セットアップ・モードおよび USB レベルに関する詳細は RPx400 ユーザーズ・ガイドを参照してください。



# メニュー

## File メニュー :

File	Device	View	Window
<u>N</u> ew Preset			Ctrl+N
<u>O</u> pen...			Ctrl+O
<u>C</u> lose			
<u>S</u> ave			Ctrl+S
<u>S</u> ave As...			
<u>E</u> xit			

### New Preset

新規プリセットの「Editor」ウィンドウを開きます。呼び出されるセッティングは「C:\Program Files\DigiTech\X-Edit」ディレクトリに保存されている「default」ファイルの設定に従います。

### Open

「Save」あるいは「Save As...」でディスクに保存されたセッティング・ファイルを「Editor」ウィンドウで開きます。

### Close

現在アクティブなウィンドウを閉じます。

### Save

現在のプリセット・セッティングをファイルにしてディスクに保存します。一度も保存されたことの無いセッティングは新規ファイルとして保存するための「名前を付けて保存」ウィンドウが開きます。2回目からは現在のファイルへ上書き保存します。

RPx400 のユーザー・メモリーへの保存は「Device」 → 「Store Preset」を実行します。

### Save As...

現在のプリセット・セッティングに別名を付けてディスクに保存します。

### Exit

X-EDIT を終了します。

## Device メニュー :

Device	View	Window	Help
<u>O</u> pen Current Preset			Ctrl+R
<u>S</u> tore Preset...			

### Open Current Preset

現在のプリセット・セッティングを「Editor」ウィンドウで表示します。

### Store Preset

現在のプリセット・セッティングを RPx400 のユーザー・メモリーへ保存します。

## View メニュー :

View	Window	Help
<u>A</u> udio Setup		
<u>L</u> ibrary Window		
<u>E</u> xpression Assignments		

### Audio Setup

「Audio Setup」ウィンドウを開きます。

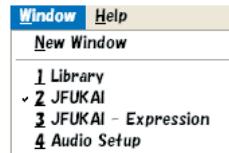
### Library Window

「Library」ウィンドウを開きます。

### Expression Assignments

「Expression Assignments」ウィンドウを開きます。

## Window メニュー :



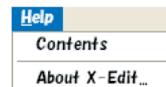
### New Window

現在のウィンドウのコピーを開きます。2つのウィンドウに異なるセッティングを施して比較するなどの用途に利用できます。

### Available Window

現在 X-EDIT 上で開かれている全ウィンドウのリスト表示です。隠れてしまったウィンドウをアクティブにできます。また現在アクティブなウィンドウにはチェック・マークが付きます。

## Help メニュー :



### Contents

X-EDIT のオンライン・ヘルプ（英語）を開きます。

### About X-Edit

現在ご利用の X-EDIT のバージョン・ナンバー等が表示されます。